

令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 事業の成果

（1）特定非営利活動に係る事業

①環境教育及び環境人材の育成に係る活動

1) 資格認定講習

- ・開催回数 1回（オンライン開催）
- ・実施級 初級・中級・上級
- ・実施期間 2025年1月11日（土）～1月31日（金）
- ・受講者数 71名（内訳等以下）。

◎受講者の多様性

- ・多様な分野からの受講を促進するための制度改定4年目となり、非環境分野を含む約20分野・20都道府県の受講者が受講した（内訳等以下）。
- ・女性の割合が男性と殆ど同じとなり、本講習開始（2003年度）以来で最大の割合となった（内訳等以下）。
- ・若手の受講促進を目的とした受講条件改定（18歳以上なら学生でも初級受講可）3年目となり、本年度は高校生を含む10人の現役学生が受講した。
- ・受講者の年代についても、10～40代の受講者が約3/4を占めた（内訳等以下）。

令和5年度受講者・認定者数内訳（単位：人）

級	受講者数	合格者数	認定者数
初級	52	42（81%）	42
中級	17	17（100%）	17
上級	2	2（100%）	2
合計	71	61	61

資格認定講習 受講者数（認定者数）推移（直近5年）（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
初級	14（12）	42（38）	69（57）	69（55）	52（42）
中級	23（23）	25（25）	42（39）	28（21）	17（17）
上級	0（0）	5（5）	5（5）	0（0）	2（2）
合計	37（35）	72（67）	116（101）	97（76）	71（61）

令和6年度受講者分野内訳

約20分野（人数・％）

サービス業/非環境系（10人・15%）学生（10人・15%）、団体関係（6人・9%）、公務員（6人・9%）、造園業（4人・6%）、教育関係（4人・6%）、市民活動者（3人・5%）、観光業（3人・5%）、製造業（3人・5%）、建設コンサルタント（3人・5%）、経営コンサルタント（3人・5%）、金融業（2人・3%）、マスメディア（2人・3%）、建設業（2人・3%）、土木業（2人・3%）、主婦・主夫（2人・3%）、その他（IT系、農業、卸・小売業など）

令和6年度受講者地域内訳

計20都道府県（人数）

北海道（4）、茨城県（2）、埼玉県（6）、東京都（18）、神奈川県（10）、千葉県（2）、長野県（2）、新潟県（1）、山梨県（3）、岐阜県（1）、静岡県（5）、愛知県（2）、富山県（1）、石川県（1）、大阪府（3）、兵庫県（4）、島根県（2）、高知県（1）、福岡県（1）、熊本県（2）

令和6年度受講者性別内訳 (単位：人)

級	男性	女性
初級	22 (42%)	30 (58%)
中級	12 (71%)	5 (29%)
上級	2 (100%)	0 (0%)
合計	36 (51%)	35 (49%)

令和6年度受講者年齢層内訳

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
初級	4	11	11	11	12	3
中級	0	3	4	6	3	1
上級	0	0	0	1	1	0
合計	4人	14人	15人	18人	16人	4人
割合	6 %	20 %	21 %	25 %	22 %	6 %

2) 認定校制度

- ・ 231名の環境再生医初級取得者を認定（内訳等以下）。
- ・ 申請減の要因については主に経済面と就活用資格需要の低下等。
- ・ 認定校数は、静岡大学が認定校加入取り止めとなり41校（内訳等以下）。

認定校での認定者数推移（直近5年） (単位：人)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
認定者数	261	304	298	207	231

令和5年度 認定校別環境再生医初級取得者数 (単位：人)

学校名		取得者数
岩手県立大学	総合政策学部	20
岩手大学	農学部	8
岩手大学	人文社会科学部	0
大阪産業大学	人間環境学部	4
岐阜大学	応用生物科学部	4
九州産業大学	工学部	16
京都先端科学大学	バイオ環境学部	2
神戸女学院大学	人間科学部	8
神戸大学	国際人間科学部	12
実践女子大学	生活科学部	1
芝浦工業大学	システム理工学部	3
尚絅学院大学	総合人間科学部	0
信州大学	農学部	20
東京テクニカルカレッジ	環境テクノロジー科	4
第一工科大学	工学部	0
拓殖大学	政経学部	5
拓殖大学	国際学部	5
拓殖大学北海道短期大学	農学ビジネス学科	0
玉川大学	農学部	18
都留文科大学	文学部	3
東海大学	海洋学部	6
東京農業大学	農学部	25
東京農工大学	農学部	0
常葉大学	社会環境学部	0

長崎大学	環境科学部	6
西日本短期大学	緑地環境学科	0
日本工科大学校	環境建設工学科	5
日本大学	生物資源科学部	12
日本大学	理工学部	8
人間環境大学	人間環境学部	0
兵庫県立大学大学院	緑環境景観マネジメント研究科	1
福島大学	食農学類	8
前橋工科大学	工学部	0
酪農学園大学	環境共生学類	13
龍谷大学	(学部共通)	8
江戸川大学	社会学部	6
岐阜女子大学	家政学部	0
金沢大学	人間社会学域	0
甲南大学	文学部	0
東海工業専門学校金山校	昼間部	0
北海道科学大学	工学部	0
合 計		231

認定校数推移（直近5年）

（単位：校）

	令和2年 2020	令和3年 2021	令和4年 2022	令和5年 2023	令和6年 2024
①継続	35	36	36	34（※1）	35
②新規	2（福島大・ 人間環境大）	0	0	2（静岡大・ 酪農学園大）	0
③関係回復	0	0	1（前橋工科大）	0	0
休眠	9	9	8	6（※2）	6
中止	1（宮城大/科目 廃止）	0	0	0	1（静岡大/加 入取り止め）
稼働校計 （①+②+③）	37	36	37	36	35

（※1）3年以上申請なしのため2校（江戸川大、岐阜女子大）を休眠校に移動。

（※2）環境科目停止等で復活不可のため休眠校4校をリストより削除。

3) 資格制度の質の向上

- ◎認定校講義受託（継続案件）：1件（龍谷大学/環境再生医フィールド研修内特別講義）。
- ◎資格取得者への有償案件紹介（継続案件）：1件（東京テクニカルカレッジ/環境保全実習講師）。
- ◎資格取得者への情報提供やマッチング、継続学習、ネットワーク支援
 - ・メーリングリスト：約40件（継続学習情報、人材募集情報、環境再生医関連活動案内など）
 - ・フィールド活動紹介：4件（茨城、千葉、大阪、長野）
 - ・自主ネットワーク支援：4件（北海道、静岡、島根、埼玉）
- ◎資格取得者のPRや活動紹介
 - ・NARECホームページでの活動紹介動画作成（8人）
- ◎レンジャーズプロジェクトとの連携
 - ・認定校取得者へのレンジャーズやボランティアリーダー案内（個別メール約200通）
 - ・資格取得者からのボランティアリーダー登用（6人）
 - ・学習の機会提供（屋久島スタディツアー勉強会、資格認定講習案内など）。
- ◎ふるさと未来プロジェクトとの連動
 - ・認定校再生医への未来塾案内など（未来塾パンフレット個別郵送約100通）。
 - ・屋久島スタディツアー集客（4人）
- ◎CS0ラーニング企画（SOMPO環境財団）との連動
 - ・認定校への参加者募集案内など。

4) 資格取得者の管理（更新等）

◎資格更新

- ・更新率対象者数72名のうち41名が更新を行った。
- ・更新率は55.6%。

更新率（直近5年）

（単位：％）

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
更新率	72.1	71.1	61.4	61.3	55.6

◎会員入会

- ・資格認定登録者61名のうち36名がNAREC会員に入会した。
（入会率59%・協力会員36名）

・入会率（直近5年）

（単位：％）

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
入会率	-	62.1	56.4	46.1	59.0

②身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

1) レンジャーズプロジェクト

令和6年度はレンジャーズ隊員の派遣（東京、神奈川、大阪など28地点）を85回（内17回中止）行い、420人の参加があった（企業・認定校のレンジャーズは除く）。隊員登録数は4993名。
以下過去実績

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
活動回数	37回	23回	40回	43回	58回
参加者数	394人	218人	331人	423人	420人
隊員登録数	3,481人	4,039人	4381人	4733人	4893人

2) 新規フィールドの設置

昨年度に引き続き1か所の新規フィールドの設置を進めた。
・大阪府寝屋川市「淀川・点野ワンド」：在来植物の植栽作業等

3) 新規リーダーの募集

リーダーは、フィールド活動当日に現場へ行き、参加者と現地団体の橋渡し役などを担っている。近年、リーダーの不足が問題となりホームページ等で有償リーダーを募集した。現在、新規リーダー登録予定者が10名（内3名は2024年度インターン生）となっている。既存の10名と合わせて20名となる予定。

リーダーの資質向上のための研修を7月20日に新宿消防署救命救急講習（普通救命講習Ⅰ）に4名参加。8月20日にオンラインにてリーダー研修・交流会実施 5名参加。欠席者には後日資料を共有。

次年度以降のリーダー研修マニュアルを作成中。

4) 企業連携・受託事業

横浜市内でのレンジャーズの実施は、引き続きNPO法人よこはま里山研究所と協働で行った。また、NPO法人よこはま里山研究所が横浜市より受託した事業「森づくりボランティア体験会」の一部業務をレンジャーズプロジェクトが受託し、隊員を9回派遣した。

マイクロソフト社からの大型寄付で大阪淀川点野ワンドの生態系再生プロジェクトを実施。10月には、マイクロソフト社員と協働で植樹を実施。

株式会社ゆうちょ銀行からの寄付では、東京エリアでのリーダー派遣およびリーダー育成プログラムの構築を行った。また、学生レンジャーズを柏の宮公園にて実施した。

朝日ライフアセットメント株式会社からの寄付では、レンジャーズ活動全般およびリーダー研修（新宿消防署救命救急講習およびオンラインリーダー研修・交流会）を実施した。他に、親子レンジャーズの試行も行った。

ドキュサイン・ジャパン株式会社の依頼により、平日に貸切にてレンジャーズ活動（黎明橋公園「育てるイクシバ！プロジェクト」）を4月および9月に実施した。

5) 学生交流レンジャーズの実施

2024年11月17日（日）に柏の宮公園で、本会所属のインターン生の企画運営で通常のレンジャーズ作業の実施と受け入れ団体との交流、同世代より少し先輩（ ）の経験を聞き、自然環境保全と関わる選択肢について学び、交流する会を開催、若者の育成や活動参加を推進した。参加者は8名、インターン生4名。

6) 親子レンジャーズ試行

2024年12月21日（日）桜ヶ丘緑地にて実施。インターン生に企画運営をお願いし、さまざまな媒体で募集および現地団体さんに近隣小学校にポスター配布をお願いしたが、参加親子は0組であった。クリスマスの時期と重なったうえ、小学校の学校行事と重なったことが理由と考えられる。

③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

1) ふるさと未来創造事業（環境再生医スタディツアーの試行）

屋久島スタディツアー開催のための視察

7月26日～28日、4名参加

- ・スタディツアーの模擬体験を実施。屋久島淀川登山道の整備状況の視察、有機農業施設アペルイの見学
- ・河川の海洋生物の調査方法と調査体験
- ・ふりかえり

2) 屋久島環境再生医スタディツアー（青い地球と生きる一步を学ぶ屋久島スタディツアー）の開催

- ・2月21日～24日に参加者7名で実施。
- ・屋久島での事前打ち合わせ7月に実施
- ・モデル化に向けたプログラムの作成
- ・覚書の作成
- ・環境再生医向けツアーのサイト作成
- ・安全管理マニュアルの作成、現地旅行者との約款の策定
- ・WEBによる事前説明会の実施
- ・スタディツアーのPR写真および動画の作成

3) 環境系学生未来塾

- ・耶馬溪 9月10日～13日に5名参加で実施。基本的に耶馬溪町に運営を依頼
屋久島 9月1日～5日に8名の参加で実施
3月5日～9日に7名の参加で実施

④ 自然体験学習に係る活動

- ・11月17日（日）に柏の宮公園にて、本会所属のインターン生の企画運営で学生交流レンジャーズの実施開催し、受け入れ団体交流、世代間交流を実施した。
- ・12月21日（日）に桜ヶ丘緑地にて、インターン生の企画運営で親子レンジャーズの実施を試みた。
- ・ニュースレターで自然体験学習に関わる活動の参考になる図書の紹介を行った
- ・環境系学生未来塾において、学生を中心に自然体験学習を行った。

⑤ テキスト等の出版に係る活動

- ・環境再生医テキスト改訂に向けた執筆を実施した。

⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動

1) ニュースレター

- ・活動報告3回（全4頁）と年次報告1回（全8頁）を発行し、発送した。
- ・ニュースレターをNARECホームページに掲載した。

月・No	内 容
2024年 7月 No. 84	2023年度年次報告、理事長、副理事長あいさつ、年次活動報告 事業レポート レンジャーズプロジェクト 大阪・淀川の自然再生プロジェクト 活動レポート 石部の棚田の田植えin松崎町
10月 No. 85	事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト 環境再生を学ぶ、屋久島スタディツアー開催に向けて 活動レポート レンジャーズリーダー研修会報告
2025年 1月 No. 86	事業レポート レンジャーズプロジェクト みんなでチガヤを植えよう マイクロソフト×寝屋川水辺クラブ×NAREC イベント報告 活動レポート レンジャーズプロジェクト 石部の棚田の収穫祭in 松崎町 学生交流レンジャーズ
3月 No. 87	特集 特集・活動レポート 屋久島スタディツアー開催報告

⑦自然環境の復元の学術的發展に貢献する活動

- ・自然環境の復元の学術的發展に資するため、環境再生医テキスト改訂に取り組み始めた。
- ・12月に櫻学会の研究発表会を共催した。

(2) その他の事業

なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額 (千円)
①環境教育及び環境人材の育成に係る活動	1)資格認定講習 2)認定校制度 3)資格制度の質の向上 4)資格取得者の管理(更新等)	1)1/7～1/31 2)通年 3)通年 4)通年	1)全国、オンライン 2)全国 3)東京都、岐阜県、兵庫県 4)全国	1)2人 2)2人 3)1人 4)3人	1)受講者116人 2)認定者298人 3)50人 4)更新者35人	3,312
②身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	1)レンジャーズプロジェクト 2)新規フィールドの募集 3)新規リーダーの募集 4)企業連携・受託事業	1)通年 2)通年 3)通年 4)通年	1)埼玉県、東京都、神奈川県、大阪府 2)東京都、神奈川県 3)埼玉県、東京都、神奈川県 4)埼玉県、東京都、神奈川県、沖縄県	1)5人 2)2人 3)2人 4)3人	1)登録者4,733人 2)新規団体2団体 3)新規リーダー5人 4)実施回数9回	14,346
③農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動	1)ふるさと未来創造事業 2)環境系学生未来塾 3)屋久島環境再生医スタディツアー	1)通年 2)通年 3)年1回	1)鹿児島県 2)大分県、鹿児島県 3)鹿児島県	1)7人 2)3人 3)3人	1)2団体 2)受入団体2団体参加者20名 3)参加者7名	945
④自然体験学習に係る活動	特になし					0
⑤テキスト等の出版に係る活動	環境再生医テキストの改訂	年11回(編集委員会)	オンライン	1)計53名(各回4～8人)	—	0
⑥社会啓発や情報発信等に係る活動	ニュースレター	年4回	東京	4人	発送数1,215件	1,200
⑦自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	特になし					0

数字から見る自然環境復元協会(2025年3月31日現在)

項目	結果
運営会員数	70
協力会員数	208
交流会員数	9
公益会員数(団体)	3
賛助会員数(個人/団体)	1/9
特別会員数	0
Narec HP ユーザー数	53,855
レンジャーズプロジェクトHP ユーザー数	14,134
Narec Facebookフォロワー	494
レンジャーズプロジェクトFacebookフォロワー	614
Narec Twitterフォロワー	349
レンジャーズ隊員Twitterフォロワー	688
レンジャーズプロジェクトInstagramフォロワー	427

※(2021年4~7月の期間 旧ホームページのみ、2021年7月のリニューアル後の数値が統計対象に設定されていなかったため)

事業報告用

令和6(2024)年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人自然環境復元協会

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】経常収益		
1 受取会費		1,509,000
運営(正)会員受取会費	518,000	
賛助会員受取会費	991,000	
受取入会金	0	
2 受取寄附金		15,284,794
受取寄附金	15,284,794	
施設等受入評価益	0	
3 受取助成金等		0
受取助成金	0	
受取補助金	0	
4 事業収益		4,521,118
受託事業収益	1,222,216	
再生医講習会費収益	1,358,150	
再生医講習会費収益(認定校)	1,864,000	
催事参加費収益	0	
資料配布収益	0	
その他事業収益	76,752	
5 その他の収益		76,644
受取利息	13,379	
雑収益(事業)	52,940	
雑収益(管理)	10,325	
経常収益計		21,391,556
【B】経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		5,127,227
給料手当	4,608,664	
賞与	0	
役員報酬	0	
臨時雇用賃金	0	
退職給付費用	0	
通勤費	131,642	
法定福利費	382,431	
福利厚生費	4,490	
(2) その他経費		14,372,875
業務委託費	9,654,871	
諸謝金	1,465,980	
印刷製本費	171,684	
会議費	1,700	
旅費交通費	409,246	
車両費	1,488	
リース料	27,377	
車両燃費費	0	
通信運搬費	583,857	
消耗品費	186,980	
広告料	150,417	
新聞図書費	42,075	
水道光熱費	50,951	
地代家賃	882,668	
賃借料	9,614	
減価償却費	18,725	

保 險 料	31,552	
諸 会 費	60,469	
接待交際費	2,376	
租税公課	134,000	
研 修 費	6,000	
支払手数料	125,088	
支払利息	0	
雑 費	355,757	
事業費計		19,500,102
2 管理費		
(1) 人件費		318,275
給 料 手 当	246,262	
賞 与	0	
役 員 報 酬	0	
パート・アルバイト給料	0	
退 職 金	0	
退職給付費用	0	
通 勤 費	3,734	
法定福利費	67,487	
福利厚生費	792	
(2) その他経費		680,647
印刷製本費	11,326	
会 議 費	300	
旅費交通費	1,655	
車 両 費	262	
車両燃費費	0	
通信運搬費	67,075	
消 耗 品 費	11,814	
修 繕 費	0	
水道光熱費	8,991	
地 代 家 賃	294,222	
賃 借 料	1,696	
広告宣伝費	0	
接待交際費	0	
新聞図書費	495	
業務委託費	216,199	
会計士報酬	0	
諸 謝 金	4,320	
減価償却費	3,304	
保 險 料	696	
諸 会 費	8,906	
慶 弔 費	0	
リース料	4,831	
租 税 公 課	23,647	
支払手数料	20,908	
支 払 利 息	0	
雑 費	0	
管理費計		998,922
経 常 費 用 計		20,499,024
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①		892,532
【C】 経 常 外 収 益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	20,390	
経 常 外 収 益 計		20,390
【D】 経 常 外 費 用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経 常 外 費 用 計		0
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②		20,390
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①＋②・・・③		872,142

法人税、住民税及び事業税 . . . ④		70,000
前期繰越正味財産額 . . . ⑤		22,513,846
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		23,315,988

令和6(2024)年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	26,773,791	
	未収入金	563,865	
	前払費用	135,530	
	立替金	67,268	
	仮払金	27,620	
	棚卸資産	0	
	流動資産合計・・・①		27,568,074
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	車両運搬具	0	
	什器備品	10,998	
			10,998
	(2)無形固定資産		
	ソフトウェア	0	
	借地権	0	
			0
	(3)投資その他の資産		
	敷金	164,600	
	出資金	0	
	長期貸付金	0	
			164,600
	固定資産合計・・・②		175,598
【A】資産合計①+②			27,743,672
【B-1】負債の部			
1	流動負債		
	未払金	1,224,204	
	預り金	25,480	
	前受金	3,178,000	
	仮受金	0	
	流動負債合計・・・③		4,427,684
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	退職給付引当金	0	
	固定負債合計・・・④		0
負債合計③+④			4,427,684
【B-2】正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	22,513,846	
	当期正味財産増減額	802,142	
正味財産合計			23,315,988
【B】負債及び正味財産合計【B-1】+【B-2】			27,743,672

事業報告用

令和6年(2024)年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日・2011年11月20日・2017年12月12日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法： 該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法 200%定率
有形固定資産： 器具備品(パソコン)
無形固定資産： 該当なし
- (3) 引当金の計上基準
貸倒引当金： 該当なし
賞与引当金： 該当なし
退職給付引当金： 該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理： 該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
内税方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業費の明細は別表を参照願います。

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は23,315,988円ですが、そのうち 0円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は23,315,988円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
	0	0	0	0	使途等が制約された寄附金等の 該当なし
合計	0	0	0	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	0	0	0	0	0	0
什器備品	0	0	0	0	0	0
.....						
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
.....						
投資その他の資産						
敷金	164,600	0	0	164,600	0	0
出資金	0	0	0	0	0	0
合計	164,600	0	0	164,600	0	0

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類 に計上さ れた金額	内、役員と の取引	内、近親者 及び支配法 人との取引
(活動計算書)			
旅費交通費(事・管)	410,901	8,030	0
車両費(事・管)	1,750	1,750	0
活動計算書計	412,651	9,780	0
(貸借対照表)			
	0	0	0
貸借対照表計	0	0	0

※管理費を按分し一部事業費に計上しているため、上記活動計算書上の金額は事業費及び管理の合算額とする。

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

その他の事業に係る資産の状況：該当なし

9. 1. 事業費と管理費の配賦額の算出方法

(1) 事業費と管理費に明確に区分できる費用は、計上時にそれぞれ直接配賦する。

(2) 事業費と管理費に明確に区分できない費用は、管理費の勘定科目で計上し、年次決算時に按分割合に従って配賦する。

《従事・面積割合》

按分の方法	勘定科目	事業部門	管理部門	合計
従事割合	地代家賃以外の費用	85	15	100%
面積割合	地代家賃	75	25	100%

令和6（2024）年度 財産目録

事業報告用

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

（単位：円）

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			
	現金預金			26,773,791
	手元現金	0		
	三菱UFJ銀行普通預金	6,676,736		
	三菱UFJ銀行②普通預金	507,216		
	三菱UFJ銀行③普通預金	4,114,063		
	ゆうちょ銀行	8,658,938		
	郵便振替口座／一般（四谷大木戸郵便局）	720,877		
	郵便振替口座／会費（四谷大木戸郵便局）	1,388,157		
	CMOあおぞらネット銀行	4,707,804		
	住信SBIネット銀行	0		
	未収収益			563,865
	環境教育及び環境人材育成事業未収金	118,865		
	嵐山漁村の活性化事業未収入金	445,000		
	前払費用			135,530
	事務所家賃	90,530		
	会費	45,000		
	仮払金			27,620
		27,620		
	立替金			67,268
		67,268		
	棚卸資産			0
	販売用寄附物品	0		
	流動資産合計・・・①	27,568,074		27,568,074
2	固定資産			
	(1)有形固定資産			0
	車両運搬具			
	事業用車両	0		
	什器備品			10,998
	パソコン	10,998		
	(2)無形固定資産			0
	ソフトウェア	0		
	(3)投資その他の資産			164,600
	敷金	164,600		
	長期貸付金			0
	銀行	0		
	固定資産合計・・・②	175,598		175,598
	【A】資産合計①+②	27,743,672		27,743,672
【B-1】負債の部				
1	流動負債			
	未払金			1,224,204
	3月分日本郵便	9,320		
	3月分JCB	83,352		
	3月分富士フイルムビジネスソリューションジャパン	11,000		
	3月分ラディックス	6,774		
	3月分マート書店／三井倉庫ビジネスパートナー㈱	770		
	3月分三菱UFJ銀行	5,610		
	3月分社会保険料	54,283		
	3月分補助金等	88,280		
	3月分従業員給料、交通費等	667,824		
	3月分業務委託費	138,287		
	3月分社会保険労務士顧問料	24,948		
	スタディツアー費用	128,474		
	従業員健康診断代	5,282		
	前受金			3,178,000
	マイクロソフト寄付金	3,000,000		
	7年度運営委員会費・賛助会員会費	178,000		
	預り金			25,480
	源泉徴収税	25,480		
	仮受金			0
		0		
	流動負債合計・・・③	4,427,684		4,427,684
2	固定負債			
	長期借入金	0		0
	固定負債合計・・・④	0		0
	【B-1】負債合計③+④	4,427,684		4,427,684
	【B-2】正味財産合計【A】-【B-1】	23,315,988		23,315,988

令和6年度年間役員名簿（役員名簿及び役員のうち報酬を受ける者の名簿）

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☒各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 (どちらかに○)	(フリガナ) 氏名	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期 間 (該当者のみに記 入)
1	☒ 理事 ☐ 監事	イシカワ アキオ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		石川 晶生		年 月 日
2	☒ 理事 ☐ 監事	イワサキ テツヤ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		岩崎 哲也		年 月 日
3	☒ 理事 ☐ 監事	オグチ フカシ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		小口 深志		年 月 日
4	☒ 理事 ☐ 監事	コウノ ヒトシ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		河野 均		年 月 日
5	☒ 理事 ☐ 監事	コボリ ユウ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		小堀 悠		年 月 日
6	☒ 理事 ☐ 監事	サカイ カナエ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		堺 かなえ		年 月 日
7	☒ 理事 ☐ 監事	シマムラ マサヒデ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		島村 雅英		年 月 日
8	☒ 理事 ☐ 監事	タカハタ タダシ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		高畑 正		年 月 日
9	☒ 理事 ☐ 監事	タニモト アキラ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		谷本 亮		年 月 日
10	☒ 理事 ☐ 監事	ミズノ ソウエ	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	年 月 日
		水野 宗衛		年 月 日

事業報告用

11	理事・ <u>監事</u>	イワツボ トモヨシ		令和6年4月1日～令和7年3月31日	年 月 日
		岩坪 友義			年 月 日
12	理事・ <u>監事</u>	コバヤシ トオル		令和6年4月1日～令和7年3月31日	年 月 日
		小林 徹			年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

	氏 名	
1	浅井 葉子	
2	阿部 文子	
3	有賀 一郎	
4	池田 昌義	
5	石川 晶生	
6	石黒 燈	
7	石橋 稔	
8	伊藤 登	
9	井上 國博	
10	岩崎 哲也	
11		
12		